九州建設専門工事業ニュース

題字は日高名誉会長筆

発行所（一社）福岡県建設専門工事業団体連合会 〒810-0022 福岡市中央区薬院1丁目6－5 ホワイティ薬院506号 電話０９２（４０６）６７７６番　発行人　杉　山　秀　彦

鞍手竜徳高生徒に作業体験

九州建専連 整備局 学校キャラバンを実施

九州地方整備局と建設産業専門団体九州地区連合会は5月16日、福岡県立鞍手竜徳高等学校の工業技術系の生徒を対象に、学校キャラバン（出前授業）を行った。明日の建設業を担ってもらおうと、建専連の会員企業の関係者らが実際の作業などを指導。生徒は普段、なかなか経験することができない、足場設置や型枠組み立てなどの作業を体験した＝写真＝。

九州地整と九州建専連は、建設業への若手入職者の減少や高齢化などの諸課題を踏まえ、担い手の確保・育成のための取り組みを行っている。その一環として、平成29年から業界と行政が一体となって高等学校を訪問し、生徒、保護者、教員に対して建設業の社会的な役割やものづくりの素晴らしさを直接語り掛け、交流するプログラムを実施している。

16日の出前授業には、鞍手竜徳高等学校の総合学科工業技術系列に通う約50人が参加。開会式では、九州建専連の杉山秀彦会長と九州地整の川畑孝幸建設業適正契約推進官があいさつ。杉山会長は、建設業について「自分の携わった仕事が目に見えやすく、将来にわたって残る、魅力のある仕事。本日の出前授業を通じて、建設業に興味を持ってもらえることを期待している」、川畑推進官は「本日の出前講座が皆さんの将来に左右する大きな経験になるかもしれない。それぞれの作業に真剣に取り組んでほしい」と呼び掛けた。

授業は5班に分かれて、それぞれ1時限ずつ「足場設置」（協力企業・スギヤマ、中村工業）、「型枠組立」（高崎組）、「鉄筋ガス圧接」（栄進工業）、「電気工事」（島田電気商会）、「解体工事」（妹尾産業、ダイアン、オノケン、藤田土木）の作業を体験した。

鉄筋のガス圧接を体験していた生徒は「少し緊張したが、楽しく作業ができ、建設業に興味を持てた」と話し、この日の授業を通じて、建設業も就職先の選択肢の一つに加わったようすだった。

同校の森和嘉教諭は、3年前の出前講座を受けた生徒の一人が、建設業を就職先に決めた事例もある、とし、「今回の体験を通じて、職業の選択の幅が広がることを期待している」と語った。

池之上支部長を再選

日本型枠九州が定期総会

（一社）日本型枠工業協会九州支部（池之上和夫支部長、会員数91社、特定会員16社）の「令和4年度第2回役員会及び第61回定期総会」＝写真＝が5月27日、福岡市の八仙閣において開催され、全議案を承認するとともに役員改選で池之上支部長を再選した。本部から三野輪賢二会長が駆け付け講話を行った。

池之上支部長（㈱伊佐工務店、福岡）は、コロナ禍のため人数を制限して役員のみの開催としたことを前置きした後「コンパネなどが高騰しているが、ゼネコンは半年や1年前の営業で契約したからと値上げを認めてくれない。一方でメーカーは次々と値上げをしておりわれわれは厳しい状況が続いている。また、職人さんの高齢化も進行しており、次世代への技術継承のためには適正単価をもらえるよう努めながら、魅力ある業界になるよう皆さんと頑張っていきたい」と訴えた。

4年度事業計画は、①受注工事の円滑なる推進を期するための技能労働者の融通、技能の向上ならびに確保、工賃に関する調査研究②工事費に関する調査研究③各分科会において行う技能検定実技、学科講習その他事業に協力④秋季研修会を10月12日佐賀県において実施する―等を決定した。

宮崎分会から正会員の入会申込みがあり㈲一心寺建設を承認した。

講和で三野輪会長は国交省の資料を基に説明。公共工事設計労務単価が10年連続で上昇し、全職種の平均伸び率が平成24年度に比較し57・6％にもなっているにも拘らず、建設業男性生産労働者の年間賃金総支給額は18・1％止まりであることを指摘。国や元請けに実情を訴えていこうと呼び掛けた。

最後に各県分会から見通しなどについて報告があり、全体的には忙しく、職人不足が今後顕著になるほか、材料等の値上げで経営が圧迫されるとの意見が相次いだ。

事務局は、福岡市中央区薬院1丁目6－5ホワイティ薬院506号。

中村正昭会長を留任

今年度事業計画等決める

福岡県タイル商工会が総会

福岡県タイル商工会（中村正昭会長、会員数25社、事務局・福岡市中央区薬院1丁目6－5ホワイティ薬院506号）の「4年度定期総会」は、新型コロナ感染防止のため書面総会で実施、書面表決書を4月25日までにほぼ回収し、全議案を原案通り可決するとともに役員改選で中村会長をはじめ全員が留任となった。

中村　会長

中村会長（㈱中村タイル商会）は「コロナの感染拡大の状況を鑑み、今年度も書面による議決権の行使によるものに変更した。ウクライナ情勢を巡る影響で、原油高騰に伴う材料費の値上げや職人不足などで大変な状況となっている。外壁剥離の事案を減らすため、モルタルから弾性ボンドの採用や大型タイルへの変更など、今までとは違ってきているので定期的に勉強会を開催している。今後も社会的状況を考慮して活動を展開していきたい」とコメント。

議事は、3年度事業報告及び決算報告承認、4年度事業計画案及び収支予算案、任期満了に伴う役員改選案について表決書で審議を求めていた。

4年度事業計画は、①会員に対し情報提供・業界の資料等の収集配布②施工研究会および勉強会（8月、10月、2月常会）③会員の資質向上のための諸行事への積極参加④会員に対し、情報の提供・業界の資料等の収集配布―等を決定した。

令和４年秋の叙勲
国土交通省 瑞宝単光章

受章おめでとうございます！

緒　方　　毅（58歳）
㈱寺田建設工事長
福岡市

冨　永　建　次（68歳）
㈱斉藤工務店型枠大工職長
薩摩川内市

行事日程

▽7月6日㈬16時～＝「福岡県鳶土工業連合会定期総会」ＡＮＡクラウンプラザホテル福岡にて。

▽7月21日㈭13時～＝「九州建専連定期総会」・15時～「九州地整と建専連の意見交換会」八仙閣にて。

（政府労災上乗せ補償＋普通死亡保障）充実した制度　建団連共済会に入会しましょう!!

【建設業福利厚生制度】記名＋無記名式

（Ａ型）総合共済制度

１口につき
月会費1,100円で
（記名者・新規加入満66歳まで）
（継続加入は70歳まで）

労災死亡930万
一般死亡230万

＊『経営事項審査制度』＊
下請け担保で加点評価

【建設業福利厚生制度】無記名式

（Ｂ型）建設安全共済制度

１口　月会費300円で労災死亡500万

おひとり様３口まで加入でき、労災死亡も1500万と安心

ますます充実魅力を増した
最良の共済制度にぜひ入会を！

会員の皆様御紹介よろしくお願いします。
（詳しくはパンフレットをご覧下さい。請求先は事務局宛）

〈お問い合わせ・お申込み〉
建団連共済会事務局
〒810-0022 福岡市中央区薬院1丁目6－5 ホワイティ薬院506号
TEL 092(406)6776　FAX 092(406)6701

難局打破へ一致団結

西圧協が第47回総会

圧接業だけでなく溶接継手や機械式継手を含めた総合鉄筋継手業としての確立を目指す、西日本圧接業協同組合（松本一彦理事長、組合員30社）の「第47回通常総会」が5月11日、福岡市の八仙閣において開催された。任期満了に伴う役員改選では全員が留任、松本理事長の5期目がスタートした。

松本理事長（栄進工業㈱）＝**写真**＝は、コロナ禍の中、西日本各地から参集いただいたことに感謝を述べた後「ウクライナ侵攻に伴う原油高騰でアセチレンも値上がりすることから、全圧連と統一して上限10％で対応していくことになったので協力をお願いする。夏場に向け西日本地区は稼働率が100％を超えることは目に見えており、全国的にも労務が逼迫するものと思われる。適正価格を確保するため一致団結するとともに、技術の研さんや若手の育成を図っていきたい」とあいさつ。

議事では、事務局の森田専務理事から各議案の提案理由を説明、7号議案まで原案通り可決した。その結果、令和4年度事業計画は、①ガス圧接継手指導員の育成②構造設計（JSCA）、総合設計事務所へのガス圧接継手PRの継続③ガス圧接継手出前講座（鞍手竜徳高校は5月16日、福岡魁誠高校は7月、広島工業高校は9月、浮羽工業高校は5年2月を予定）④経営者研修会（6月）⑤ZGPシステム新規・更新講習会（10月、沖縄地区）⑥福岡県鉄筋事業協組との意見交換会の開催（11月）⑦第9回西圧協ガス圧接技能大会（5年3月19日）―などを実施する。

情報交換では、九州地区の現状を後藤弘樹支部長（㈱荒木工務店、福岡）、中四国地区の現状を宮本晃典理事（サンヨー圧接㈱、岡山）が報告。九州地区は「少しではあるが単価が値戻しの方向にあるものの、材料等の値上げで労務費にしわ寄せがないよう取り組みたい」、中四国地区は「九州に比べ単価が低いので少しでも上がるよう頑張りたい」と述べた。

種子尾会長を再選

北友会が第53回定期総会

福岡県型枠組合連合会北友会（種子尾浩次郎会長）は5月13日、北九州市小倉北区の小倉飯店で「令和4年度第53回定期総会」＝**写真**＝を開催、役員改選で種子尾会長（大益建興㈱）の再選を承認した。

種子尾会長は「型枠業界も仕事量は増えつつあるものの、人手不足感が否めない。状況打破に向け、皆さんのさらなる協力をお願いする」とあいさつ。また、型枠単価の適正化に向け、「一度下がった単価を戻すことはなかなか容易ではない。会員各社の経営安定化、適正単価に向け、型枠単価の向上にも努めていきたい」と述べ、会の結束も求めた。

議事では、3年度事業・決算および監査報告、4年度事業計画案、ならびに収支予算案、役員改選などを全会一致で承認。新規入会員として㈱吉竹建設、㈱トモテックの2社を紹介した。

今年度の事業計画では、①適正賃金の確保に対する研究施策②従業員の技術向上のため、登録基幹技能者、技能士、指導員の受講推進ならびに、講習会の開催③研修会、歩こう会の実施―等の事業を推進する（年2回の歩こう会は6月の前期開催分は新型コロナ感染拡大防止で中止）。

坂本隆生会長が続投

福岡県タイル煉瓦工業会

福岡県タイル煉瓦工業会（坂本隆生会長、会員数32社）の「令和4年度定期総会」が5月28日、福岡市の八仙閣において開催された。全議案を承認、役員改選で坂本会長を再選した。

坂本会長＝**写真**＝は、「ここ2年間はコロナ禍のため、多くの行事や会合が中止となり思うように活動ができなかった。今年度は感染対策を講じながら、小学生を対象にしたものづくり体験講座など、将来の職業選択に生かしてもらうよう子供たちと触れ合う場を提供していきたい」とあいさつ。

坂本会長を議長に各議案を審議。その結果、4年度事業計画は、①ものづくりに興味のある若年層に技能職種の紹介を行い、後継者不足に悩む現場とマッチングの場を提供する「ものづくり新弟子受入事業」の実施②7月に技能試験の実技練習を行う③9月以降に技能職者の熟練の技を通して、ものづくりの大切さや尊さを理解してもらい、将来の職業選択に生かしてもらうため、小学生を対象に「ものづくり体験講座」を実施する④福岡県職業能力開発協会等と共同で「福岡技能フェスティバル」を開催し、子供を対象としたものづくり体験コーナーを企画する⑤会員の交流を目的にボウリング大会を予定⑥各種講習会の開催（技能検定試験ほか）―を実施する。

役員改選では、坂上力雄副会長が常任相談役になったことに伴い、副会長が3人から2人となった。そのほか全員が留任となった。

事務局は、福岡市中央区薬院1－6－5ホワイティ薬院506号。

躯体基礎科に15人入校

九州建専連が認定訓練

建設産業専門団体九州地区連合会（杉山秀彦会長）は4月4日、令和4年度新入社員研修「認定訓練躯体基礎科」の入校式＝**写真**＝を、福岡市南区の（一社）福岡経営者労働福祉協会内で開いた。

今年度は、新たな試みとして解体コースを設置。10社から集まった15人が受講し、来月までさまざまな訓練に取り組む。

訓練は今年で5年目になる。今年度は、とび・型枠コースの12人と、新設した解体コースの3人が入校式に臨んだ。

杉山会長は式中、「実際にものづくりをする人がいなければ、世の中は立ち行かない。自分が社会を支えるという気持ちを持ってがんばってほしい」とあいさつ。

訓練実施機関である福岡経営者労働福祉協会の担当者は、「皆さんへの会社の期待が大きいことを自覚し、常に感謝の気持ちをもって受講してもらいたい」と述べた。

とび・型枠コースは5月20日、解体コースは5月11日に閉校式を開催する。

当面は、両コースともビジネスマナーや小型移動式クレーン運転技能講習、玉掛け技能講習、クレーン運転特別教育、高所作業車運転技能講習など、共通の訓練を行う。4月下旬以降に内容が分かれ、とび・型枠コースはフォークリフト運転技能講習、躯体基礎などを実施する。

解体コースは、ガス溶接技能講習、小型車両系建設機械（解体）特別教育などを予定している。

入職者確保へ情報発信

全防協九州沖縄 津上支部長を再選

（一社）全国防水工事業協会九州沖縄支部（津上和田支部長、会員数98社・団体）の「設立30周年記念祝賀会」および「2022年度（第10期）通常総会」＝**写真**＝が5月17日、福岡市のオリエンタルホテル福岡において開催された。津上支部長は、30年の歴史を振り返るとともに防水は将来性ある業種であると強調、情報発信に心掛け入職者の促進につなげようと呼び掛けた。総会では、全議案を承認し役員改選で津上支部長を再選した。

30周年祝賀会で津上支部長（津上産業㈱、福岡）は、全防協の発足目的を紹介した後「九州沖縄支部は平成4年7月に139社で第1回総会を開催、初代支部長は進藤博一氏でスタートした。会員増強を図るため、最近新たな事業として取り組んでいる1、2級建築施工管理技士や建設業経理士の事前講習会を継続するなど会員としてのメリットを高めたい。今後の課題は入職者の確保となるが、防水業者の許可業者は全国で3万7500社となっており、平成12年との比較で1・5倍となっている。伸び率が高いということは将来性がある業種ということでもあり、入職希望者にさらなる情報発信を図っていきたい」とあいさつ。

続いて、支部役員10年以上の企業5社に表彰状と記念品が贈られた。

総会では、津上支部長のあいさつの後、進藤博史幹事（日建工材㈱、福岡）を議長に慎重審議した。

令和4年事業計画は、①経営研修の実施（キャリアアップシステム制度やインボイス制度の周知および対応ほか）②技術研修会および講演会の開催（1・2級建築施工管理技士講習会を9月23日～26日）、1・2級建設業経理士講習会を5年2月11日～13日に開催予定）③全防協の事業推進および支部運営に対する理解の増進（市民への防水工事業の周知ならびにアピール）④登録防水基幹技能者認定資格取得の推進⑤目的を同じとする他団体との連絡および提携（九州建専連等との協調協力ほか）―を決定した。

役員改選では、全役員が留任し新たに幹事として後藤勝氏（アオケン㈱、福岡）が新任した。

事務局は福岡市中央区舞鶴1－2－8セントラルビル2階。

適正価格での受注促進

全室協九州支部が総会

（一社）全国建設室内工事業協会（略称・全室協）九州支部（平木松美会長、会員数223社）は5月13日、「令和4年度（第47回）総会」を福岡市のオリエンタルホテル福岡において開催した。本部から横山忠則会長、石田潤一事務局長が駆け付けあいさつした。

3年ぶりに開催された総会の冒頭、平木会長（㈱アーキプロ、福岡）は「ここ数年単価が少しずつ良くなってきていたが、ウクライナ情勢で原材料や資材の大幅な高騰により労務費へのしわ寄せが懸念される。また、仕事が減少したからといって安値で受注するようなことがないよう、適正価格での心掛けをお願いする」と訴えた。

議事では4号議案までの全議案を原案通り承認した。事業計画は、全室協がメインテーマとして掲げる「経営の健全化と技能者の確保・育成」のために、技能労働者の処遇改善を図る。「標準見積書の活用促進」「人材の確保・育成」「登録基幹技能者の適正な評価」「建設キャリアアップシステム」などの課題に積極的に取り組んでいくとしている。

懇親会で九地整建設産業課の井田悟志課長は「建設現場で働く人が誇りと希望を持って働き続けられる魅力ある産業としていくため、皆さんと連携を図り、諸施策に取り組んでいきたい」とあいさつ。

続いて、横山会長は「ダンピングや指し値発注があったとしても、赤字工事で受注しないようお互いの信頼関係と努力で頑張ってほしい」などと激励した。

九州支部事務局は、福岡市博多区上牟田1－18－23アオケン㈱内。